

会 議 録

会議の名称	令和3年度第4回行田市行政改革推進委員会
開催日時	令和4年1月20日(木) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時00分
開催場所	行田市産業文化会館 2A・2B会議室
出席者氏名	新井啓介委員、金井陽一郎委員、金子彰委員、坂本健蔵委員、 島田彰雄委員、寺山昌文委員、長岡幸雄委員、仁平悟史委員、 ビチャイ サェチャウ委員、森田 孝委員
欠席者氏名	関口圭市委員
事務局	企画政策課：島田課長、横倉主幹、嶋田主査、栗田主任、高梨主事
会議内容	司会 島田課長 議事 (1) 行財政集中改革プラン(案)について
会議資料	○次第 ○行田市行政改革推進委員会委員名簿 ○行財政集中改革プラン(案)
その他必要事項	傍聴者 1名

会議録 の確定	確定年月日	主宰者氏名
	令和4年3月4日	新井啓介
発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）	
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は初めてのペーパーレス会議であるため、議事に入る前に、資料の確認をお願いしたい。 ・不明な点があれば、随時、事務局職員にお知らせ願う。 ・続いて次第の3、議事に移る。議事の進行は行政改革推進委員会設置条例に基づき新井会長をお願いする。 	
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事の前に、第2回委員会で皆様にご了承いただいたとおり、会議は公開とし、会議録を市のホームページ及び市政情報コーナーで公開するため、ご了承いただきたい。 ・本日は、行財政集中改革プラン全体を議題とし、ご協議いただきたい。 ・それでは、「行財政集中改革プラン（案）」について、事務局に説明をお願いする。 	
事務局	（資料「行財政集中改革プラン（案）」により説明）	
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明があったが、これに対してさらに意見があればお願いしたい。 	
寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・19ページ、GIGAスクールについてお聞きしたい。デジタル化を進めているが、経済的な格差が拡大している中で、本当に貧困が厳しい環境にある人たちに対して、しっかりと届いているのか。本当に一人1台の端末が提供されているのか。 	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言下においても、全ての児童生徒に対して一人1台のタブレット端末を配布してオンラインで授業を行うなど活用している。また、貧困などによりインターネット環境がない家庭に対しては、ポケットWi-Fiを配布してオンライン授業ができるよう整備を行っている。 	

寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困の実情はなかなか把握しきれないところもある。 ・ なかなか学校の先生は突っ込んでいけないのでスクールアドバイザーや民生委員の助けを借りて、実態を深く掘んでいくことが必要である。具体的にそこまで手が届いているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ G I G A スクール構想はまだ始まったばかりである。これまでのところ、経済的な理由により不都合が生じているという状況は把握していない。しかしながら、ご指摘のとおり手厚くフォローしていく必要があるため、教育委員会に伝える。
ビチャイ委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ G I G A スクールにおいてはタブレットなどハードウェアの整備は進んでいるが、ソフト面はどうか。学生のアクセス状況、課題の提出状況などを全て管理できるランディングマネージメントシステム（RMS）というプラットフォームがある。ものづくり大学でもムードルというシステムを導入している。システムの活用もポイントではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ G I G A スクール構想は始まったばかりの取組みである。オンライン授業は T e a m s を使用しており、児童の顔を見ながら授業を行い、出席確認している。システムの導入はまだ先になるかと思うが、教育委員会に情報提供する。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 ページの地方交付税の中身について教えてもらいたい。 ・ G I G A スクール構想について私なりの考え方を述べたい。今までの学校教育では、生徒が先生を選べなかった。実際にクラスには担任がいて、担任の先生の授業を受け、担任が評価を行っていた。しかし、インターネット上には個性的な教え方を行っている先生もいて、わかりやすいものも多くある。今後はインターネットを活用して、生徒が好きな先生を選択して授業を受けられるようになればよいと考えている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方交付税は団体間の財源の不均衡を調整することを目的に交付されるものであり、普通交付税と特別交付税がある。譲与金は地方譲与税、交付金は利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金などが含まれている。

森田委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国県支出金とは何か。 ・ 国や県からの補助金や交付金である。用途が特定されていない地方交付税と異なり、特定の事業に対して充当するための補助金である。
森田委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市税の内訳は。 ・ 市税の内訳は、個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税及び入湯税である。
森田委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民税やたばこ税の増収はなかなか難しいと思うが、固定資産税については、計画的に都市計画を行い、道路を作れば税収が上がる可能性はあるのか。 ・ 固定資産税は土地や家屋に対して賦課する市税であるが、土地は原則として地価に応じて、家屋はその建物の評価額に対して課税するため、建物が多く建てば固定資産税は上がる可能性がある。また、土地についても地価が上昇すれば上がる可能性はあるが、ここ2、30年間埼玉北部では地価の上昇がみられない。例えば、企業誘致などで農地が宅地化されたり、工場が建設されたりすれば、固定資産税の税収が上がる可能性はある。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政改革を行う上で大事なことは、収入面である。支出面は職員の努力により節減できていると思うが、収入の部分については、地価をあげるような施策を立てなければならない。藤原町は前年より若干上がっていたように記憶しているが、他はほとんど横ばいか下がっている。しかし、熊谷市では若干上がっているところもある。都市計画も合わせて考え、税収を上げるためのKPIを設けてもよいと考えている。
金井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚目の策定の趣旨や背景が記載されており、SDGsについても、アイコンが付されて取組みとの関連性がわかりやすく良くなった。もし付け加えるのであれば、今月の初めに市長がゼロカーボンシティ宣言をされているので、アピールのためにも宣言内容について盛り込んでみてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロカーボンシティ宣言については、どこに盛り込むかは検討させていただくが、盛り込む方向性で考えたい。
寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ このプランは誰が見るものか。一般の市民も見ることか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各取組みがSDGsの目標と関連付けられているが、一般の市民に伝えられるか疑問である。アイコンをもっと大きくして、説明を入れられればよい。 ・本プランはホームページでも公表するため、一般の市民も見ものである。 ・SDGsのアイコンについては、スペースに限りがあるためそれを考慮しつつ検討する。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・取組項目の（16）事務事業の見直しに対してSDGsの目標17がつけてあるが、この項目であっているのか確認したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・我々もSDGsについて精通しているわけではないが、目標17には持続可能な開発のための政策の一貫性を強化するというターゲットがあるので、そこと紐付けている。こういったアイコンをつけた方がいいというものがあれば教えていただきたい。
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・寺山委員、いかがか。
寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・見た方に伝わるよう、できるだけわかりやすくしてもらえばよい。
長岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金については、今までは恐らく予算が余ったときに積み立ててきたと思うが、2019年の災害や現在の新型コロナウイルス対応などで大分支出してしまったのではないかと思っている。どのように財政調整基金を積み立てていくのか、考えはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金はこれまでも歳入が歳出を上回ったときに積んできている。ご指摘のとおり、近年はいろいろな災害などがあり、財政調整基金を切り崩している年もある。今後も収支の状況を見ながら、可能であれば積み立てを行っていきたい。
長岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・財政担当の考えもあると思うが、企画部門が主導して積み立てていくべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本プランを読んでみて、表現がわからない、または難しいなど、新たに注釈をつけた方がいい箇所があれば指摘いただきたい。
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・特に意見もなければ議事の（1）については、原案のとおり承認としてよいか。
新井会長	<p>（異議なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって、本日の議事を終了する。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会は市長の諮問機関として設置され、これまで行財政集中改革プラン策定のために審議を行ってきた。これまでの審議結果は、計画書案の提出という形で、1月31日に委員会を代表して私から市へ答申する。なお、計画書案につきましては、後日事務局から委員へ送付する。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定等について事務局から説明する。 ・会長から市長へ答申後、2月1日から3月2日までパブリックコメントを実施する。その後、パブリックコメントの意見も踏まえ、年度中に市長決裁を受け、最終的な内容の確定とさせていただきたい。令和4年度から、本計画に基づき様々な取り組みをスタートしていくこととなるが、答申の際の計画書や完成後の最終的な計画書についてはその都度電子メールで送付する予定である。 ・以上で本日の予定は終了となる。これまで長期間に渡り協議にご協力いただき感謝する。 ・行財政集中改革プランの検討については、本日が最後となるが、委員の任期は令和5年8月23日までの2年間となっており、任期中に再度委員会を開催することとなった場合には、またご協力をお願いしたい。 <p>5 閉会</p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって、令和3年度第4回行田市行政改革推進委員会を終了する。